

ハードルぬきっこパスゲーム(中・高学年)

(説明のシナリオ)

(チームごとに整列して座らせる)

(この時点でハードルは並んでいるものとする。並べ方のページ参照)

(ボールは、前の活動が終了した所で入れ物に戻し、子どもたちはボールを持っていない)

2人組を作る

- 1 これからハードルぬきっこゲームをします
- 2 2人ペアで行います
- 3 チーム内で2人組を作ります(はじめから教師が決めておいてもよい。その場合は「8」へ)
- 4 全員立ってください
- 5 親チームは親チームの中で2人組を、子チームは子チームの中で2人組を作りましょう
- 6 人数にあまりが出てしまう場合は、親子で組むか、3人組を作りましょう
- 7 組が作れた人から座りましょう
(組が作れなかった子は、教師の指示で3人組を作る)

ルール説明

- 8 ルールを説明します
- 9 2人1組で、ドリブルやパスをしながら、ハードルの中にボールを通します
- 10 1台のハードルの中にボールが通せたら、それで1点です
- 11 ハードルは、どちらの方向から通してもかまいません
- 12 ただし、続けて同じハードルを2回通してはいけません
- 13 また、移動するのに手を使ってもいけません
- 14 ボールが逸れてしまった時も、足を使ってドリブルで戻ってきましょう
- 15 1分間で何台のハードルをくぐせたかを競います

見本を見せる

- 16 では、1つのチームに試しにやってもらいましょう
- 17 Aチーム立って下さい
- 18 2人組のうちの1人がボールを持ってきて下さい
- 19 どのハードルでもいいので、散らばって準備をして下さい。
- 20 見本なので30秒でやってみましょう
- 21 よーい、はじめ
(30秒ストップウォッチで計測し、時間になったら笛等の合図をする)
- 22 Aチームの人ありがとう。上手にできましたね

全員でやる

- 23 今度は全員でやってみます
- 24 2人のうち1人がボールを持ってきて下さい
- 25 全員立って位置について下さい。
(全員が散らばったのを見計らって)
- 26 ではいきます、用意、はじめ
(1分間ストップウォッチで計測し、時間になったら笛等の合図をする)
- 27 全員もとの通りにチームごとに並びましょう
- 28 全員並べたチームは座りましょう

評価・確認

- 29 何回ハードルを通せたか、聞いてみましょう
- 30 10回以上通せた人いますか。
(さらに多く通せた組があったら、回数を聞いてほめましょう)

2回目

- 31 では、2回目をやってみます。
(以下同様)

ディフェンスを入れる

- (3時間目頃から、ディフェンスを入れる)
- 32 慣れてきたようなので、今度は守りの人を入れてやってみましょう
- 33 守りの方のことをディフェンスといいます。
- 34 ディフェンスの人は、ボールが、ハードルをくぐらないように邪魔をして下さい
- 35 最初にAチームの人にディフェンスになってもらいましょう
- 36 ディフェンスの人は、同じ一つのハードルをずっと守るのではなく、
- 37 自由に動いて、ボールがハードルをくぐらないようにどんどん邪魔をして下さい
- 38 では、最初にAチームのディフェンスの人、自由な位置に守りについて下さい
- 39 次に、BチームからDチームの人は、たくさんハードルがくぐせるように、位置について下さい
- 40 はじめます。用意、はじめ
(1分間ストップウォッチで計測し、時間になったら笛等の合図をする)
- 41 チームごとに並びましょう
(同様に回数を聞いて、できるだけたくさんの子をほめる)
(以下ディフェンスをB,C,Dと交代しながら一巡するように行う)

